

## 令和6年度 一般会計予算に関する決議

昨今の人手不足、資材不足また自然災害や他国の紛争・戦争等の影響を受け、急激な物価高は、市民生活に影響を与えている。これらは市の歳入・歳出にも少なからず影響を及ぼしている。そのような中、令和6年度一般会計予算審査において、これまで指摘されてきた本市の財政状況等に鑑み、今回、予算決算特別委員会にて指摘された事項について、予算執行の際は慎重に進めていただくと共に、下記の事項については、より慎重な執行及び予算措置を求める。

### 記

1. 市長車の選定について、物価高騰等に苦しむ市民感情のことも考慮したうえで、金額を抑えつつ安全性や耐久性、車両購入から十数年使用することを念頭に、車種選定をおこなうこと。また、リース契約による使用も検討すること。
2. まちの顔（旧 IT センター跡地利用）の立体型防災駐車場整備について、現在近隣の事業者契約駐車場及び一般利用また一部役所職員駐車場としての利用を想定されているが、誤解をまねかないように面整備・有料化に伴う収入等を示しながら議会や住民に十分な説明をおこない、理解を求めること。また、駐車場のみではなく「まちの顔」にふさわしい賑わいも含めた収益性のある施設となるよう検討すること。  
なお、駐車場利用料金は、学校行事（保育園含む）での利用や、市役所イベント等での利用については、無料での利用も含めて、可能な限り低廉化を検討すること。
3. コロナ禍で削減された授業を補うための放課後講座は、市内中学校3学年の受験対策に効果をあげた。この学力強化支援事業委託の復活を検討し、本当に必要とされる生徒へ支援できるよう制度設計も見直し、学力強化支援事業の後継となる事業を早期に検討すること。

以上、決議する。

令和6年3月22日

豊見城市議会

あて先 豊見城市長